光村の「国語」構造と系統 ―― 小・中９年間を見通して ――

この表の見方

- 《思考力、判断力、表現力等》に示された３領域、および《知識及び技能》の各事項について、小・中９年間の構造と系統を示しました。また、領域を超えた教材の連携を　帯で示しています。
- 小学校は「たいせつ」、中学校は「学びのカギ」または「目標」の記述を基に、主な学習内容を示しました。学習内容を見出しとして立て、教材名を（　）内に示しました。
- 《思考力、判断力、表現力等》の学習には、３領域および《知識及び技能》の指導事項を配当しました。各領域の指導事項を（　）内に、《知識及び技能》の目標を《知・技》に示しています。
- 特に学習の中で押さえておきたい言葉を、領域ごとに「学習用語」として取り立てました。教科書の巻末には、当該学年で学習する用語をまとめた「学習のための用語一覧」を示しています。合わせてご参照ください。
- 表中のマークは次の領域・事項を表します。話すこと・聞くこと　書くこと　読むこと　情報の扱い方　また、「学びのカギ」で学習する内容や用語には、マークを示しています。

光村図書

小学校

話すこと・聞くこと

話すこと／聞くこと	話し合うこと	学習用語
低学年	知らせたいことを話す よく聞いて、話を続ける　考えながら聞く 大事なことを落とさずに聞く 質問をして、相手の考えを引き出す 相手に正しく伝わるように話す 組み立てを考えて、話す	二人で話し合う 考えを出し合い、話をつなげる	メモ 質問 話題 組み立て
中学年	話を聞いて、知りたいことを質問する 理由を挙げて、伝えたいことを話す メモを取りながら聞く 大事なことがよく伝わるように話す	話し合って、考えを広げる 進行を考えながら話し合う 自分とは違う立場になって考える 役割を意識しながら話し合う	司会 要点 箇条書き 取材 議題
高学年 小5	意図を考えながらきき合う 説得力のある提案をする	二つの立場から意見を述べ合う 立場の違いを明確にして、計画的に話し合う	構成 事例 主張 根拠
高学年 小6	話を聞いて、考えを深める 資料を活用して、自分の思いや考えを効果的に伝える	いろいろな考え方を聞いて、 自分の考えに生かす 目的や条件に応じて話し合う	

書くこと

説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	学習用語
見つけたことを書く 順序に気をつけて書く　わかりやすく書く 観察したことを書く 組み立てを考えて書く 順序がわかるように書く	手紙を書く 日記に書くこと 書いた文章を見直す 思いが伝わるように書く	書いたものを読み合う 組み立てを考えて、お話を書く 書いたもののよいところを見つける	題名 メモ 組み立て
読む人のことを考えて、書くことを選ぶ 図を使って、何を書くかを考える わかりやすい組み立てを考える 書いた文章の感想を伝え合う	読み返して、文章を整える	物語を書くときの組み立て 書き表し方を工夫して、物語を書く	段落 引用 出典
相手や目的に応じて、文章を見直す 伝えたいことをわかりやすく書く 理由や例を挙げて、自分の考えを書く	手紙で気持ちを伝える 知らせたいことの見せ方を工夫する	連想を広げて表現を工夫する 言葉や表現の工夫について、感想を伝え合う	要点 箇条書き 見出し 取材 割り付け
目的に沿って、集めた情報を整理する 説得力のある構成を考える グラフや表を用いて、考えを書く 文章のよいところを見つける		表現を工夫して、感動を伝える 情景が伝わるように書く 物語の効果的な構成を考える	構成 事例 主張 根拠
説得力のある構成で、提案する文章を書く 読む人を意識して推敲する 目的や意図に応じて、効果的に伝える	書き表し方を工夫して、推薦する文章を書く	感想を伝え合い、今後の表現に生かす 伝えたいことを、比べて選ぶ 自分の思いを的確に伝える	推敲

読むこと

説明的な文章	学習用語	文学的な文章	学習用語
「問い」と「答え」を捉えて読む　読んで確かめる 順序に気をつけて読む　比べて読む 説明する文章を読む　大事な情報を読み取る 読んで、わかったことや思ったことを伝え合う	題名 組み立て 筆者 話題	お話を読む　思い浮かべながら読む 好きなところを見つける　読んで感じたことを伝え合う どんなお話か確かめる　お話の様子を思い浮かべる 登場人物と自分を比べて、感想をもつ 人物の様子を思い浮かべる　読んで、感じたことを伝え合う	題名 作者　訳者 登場人物（人物） 場面 あらすじ
読書　言語を選んで読む／お気に入りの本を紹介する			
文章全体の組み立てを捉える　作り手の工夫を考える 話題と、例の書かれ方を考えながら読む 説明する文章を読んで、考えをもつ	問い（問いの文） 段落 キャッチコピー	言葉に着目して、登場人物の気持ちを確かめる 登場人物がどのように変化したかを考える 場面を比べながら読み、感想をもつ 内容や書かれ方に着目して読む　登場人物についての考えを伝え合う	連 会話文・地の文 語り手
筆者の考えの述べ方を捉える　目的を意識して読む 中心となる語や文を見つけて、要約する 感じ方の違いに気づき、よさを見つける	要点 対比 要約	言葉に着目して、出来事と人物の気持ちを捉える 繰り返し出てくる物や言葉について考える 気持ちの変化を捉えて、感想をもつ つながりを見つけながら読む　読んで考えたことを伝え合う	設定 情景
読書　さまざまな種類の本を読む／本の読み方について考える			
要旨を捉える　目的に応じて新聞を読む 文章にある資料の効果を考える 自分の考えを明確にする	要旨　構成 事例 主張　根拠	表現に着目して、人物の心情や聞かりを考える 物語の全体像を想像する　伝記を読み、自分の生き方を考える 多様な観点から読み、魅力を伝え合う	心情 人物像 構成　山場
読書　作家に着目して読み広げる			
主張と事例の関係から、文章全体の構成を捉える インターネットを使って、適切に情報を得る 考えを効果的に伝えるための筆者の工夫を捉える 複数の文章を読んで考えたことを伝え合う		視点や作品の構成に着目して読む 作品の世界を捉える 物語を読んで、自分の考えをまとめる 人物の生き方に着目して読み、考えを広げる	視点
読書　読書を通して自分の考えを深め、広げる			

情報の扱い方

情報と情報との関係	情報の整理
順序を捉える	メモを取る
全体と中心の関係を捉える	引用する
考えと例の関係を捉える	要約する
原因と結果の関係を捉える	目的に応じて引用する
主張と事例の関係を捉える	情報と情報をつなげて伝える

言葉・語彙・文法

文字　文・句点・かぎ（「」） ものを表す言葉
仲間の言葉 主語と述語 反対意味の言葉・反対の意味の言葉 様子を表す言葉
国語辞典を使う こそあど言葉 修飾語 伝わる言葉で表す
つなぎ言葉 いろいろな意味をもつ言葉 言葉の分類 つながりに気をつける
短歌・俳句に親しもう 慣用句 季節の言葉（行事）
古典の世界 （竹取物語／平家物語／方丈記／徒然草／論語／奈枕 清島大郎 ――「御伽草子」より 季節の言葉（気象）
「天地の文」 古典芸能の世界 （能／狂言／人形浄瑠璃／歌舞伎／落語）
「おむすびころりん」／「わらしべちょうじゃ」 言葉遊び
「いなばの白うさぎ」 「せかい一の話」 季節の言葉（身近な動植物）

我が国の言語文化

「おむすびころりん」／「わらしべちょうじゃ」 言葉遊び
「いなばの白うさぎ」 「せかい一の話」 季節の言葉（身近な動植物）
伝統を楽しもう 短歌を楽しもう ことわざ・故事成語 季節の言葉（暮らし）
短歌・俳句に親しもう 慣用句 季節の言葉（行事）
古典の世界 （竹取物語／平家物語／方丈記／徒然草／論語／奈枕 浦島大郎 ――「御伽草子」より 季節の言葉（気象）
「天地の文」 古典芸能の世界 （能／狂言／人形浄瑠璃／歌舞伎／落語）

学習用語

題名
メモ
段落 引用 出典
要点 箇条書き 見出し 取材 割り付け
構成 事例 主張 根拠
推敲

小・中の接続　言葉に出会うために〈声を届ける／野原はうたう／書き留める／言葉を調べる／続けてみよう〉

中学校

話すこと・聞くこと

話すこと／聞くこと	話し合うこと	学習用語
中1	情報を的確に聞き取る（話聞ア） （知・技）情報を整理する （例示）情報を聞き取り、要点を伝える） わかりやすい話の構成を考える（話聞イ・ウ） （知・技）声の大きさや速さを意識する （話の構成を工夫しよう　1枚の写真をもとにスピーチをする） 質問で話を引き出す（話聞エ） （知・技）声の大きさや間の取り方を意識する （聞き上手になろう　質問で話を引き出す）	話題を的確に捉える（話聞オ） （知・技）意見と根拠の関係を理解する （話し合い（進行）　進め方について考えよう） 話題や展開を捉えて話し合う（話聞オ） （グループディスカッション） ［話題や展開を捉えて話し合うには］ 話題を整理する　目的や話題を確認する 話題を転換する　他の人の意見を受ける 相手の反応を踏まえながら話す（話聞ウ） （知・技）情報や理由を明確にする （例示）1年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する） 1年間の学びを振り返る	聞く 情報収集 比較・分類 紹介（スピーチ） 構成の工夫 声の大きさ・速さ 対話・質問 質問のしかた 声の大きさ・速さ 話し合い（進行） 話題を捉える 意見・根拠 グループディスカッション 話題を捉える 展開を捉える 意見・根拠 発表 表現の工夫 比較・分類
中2	意見と根拠を整理して聞き取る（話聞ア） （知・技）情報整理の知識や方法を活用する （例示）意見を聞き、整理して検討する） 資料や機器を活用して話す（話聞イ・ウ） （知・技）適切な根拠の取り方を考える （魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする） 質問で思いや考えを引き出す（話聞エ） （知・技）言葉の働きを意識する （聞き上手になろう　質問で思いや考えを引き出す）	話し合いの流れを整理する（話聞オ） （知・技）意見や根拠を捉える （話し合い（進行）　話し合いの流れを整理しよう） 互いの立場や意見を尊重する（話聞オ） （立場を尊重して話し合おう　討論で視野を広げる） 互いの考えを尊重しつつ対話する（話聞オ） （知・技）共通点を見つけ、抽象化する （国語の学びを振り返ろう 「話題を学ぶ意義」を考え、コピーを作る） これまでの学びを価値づける	聞く 情報収集 意見・根拠 説明・提案（プレゼンテーション） 構成の工夫 資料・機器 言葉の働き 対話・質問（インタビュー） 質問の工夫 言葉の働き 話し合い（進行） 結論を導く 意見・根拠 討論 立場の尊重 意見・根拠 対話 具体・抽象
中3	意見を聞き、適切さを判断する（話聞ア） （知・技）情報の信頼性を確かめる （例示）意見を聞き、適切さを判断する） 相手を説得するために構成を工夫する（話聞イ・ウ） （知・技）情報の信頼性を確かめる （説得力のある構成を考えよう　スピーチでの主張から） 質問で相手の思いに迫る（話聞エ） （知・技）相手や場に応じた言葉遣いを選ぶ （聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る） 場の状況に応じ、わかりやすく話す（話聞ウ） （知・技）文章の種類と特徴について理解する （例示）3年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする） これからの学びを展望する	話し合いを効果的に進める（話聞オ） （知・技）情報を比較してまとめる （話し合い（進行）　話し合いを効果的に進めよう） 合意を形成する（話聞オ） （知・技）具体的な事例を抽象化して整理する （合意形成に向けて話し合おう　課題解決のために会議を開く） ［3年生が行う意義（大）］ ［3年生が行う意義（小）］ （実用性（低）／実用性（高））	聞く 評価 情報の信頼性 主張・提案（スピーチ） 説得 構成の工夫 表現の工夫 情報の信頼性 対話・質問（対話） 展開の予測 言葉遣い 話し合い（進行） 進行の工夫 具体・抽象 議論 合意形成 具体・抽象 発表 表現の工夫

書くこと

説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	学習用語
中1	情報を集めて取捨選択する（書ア・イ） （知・技）比較・分類したり、関係づけたりして整理する （情報を整理して説明しよう　発見したことをわかりやすく書く） テーマを決め、情報を集める（書ア） （知・技）引用や出典について理解する （情報収集の達人になろう） 根拠を明確にして書く（書ウ・オ） （知・技）引用のしかたを理解し、活用する （根拠を明確にして書こう　資料を引用して報告する） 構成や展開を考えて書く（書イ） （知・技）古典の世界に親しむ （今に生きる言葉　故事成語を使って体験文を書こう） 根拠を明確にして、意見を書く（書ウ） （知・技）意見と根拠の関係を明確にする （「不便」の価値を見つめ直す 筆者の主張に対する自分の意見を書こう） 伝えることを明確にする（書ア） （知・技）情報や理由を明確にする （例示）1年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する）	必要な情報を明確に伝える（書ア・イ） （知・技）情報整理のしかたを理解し、活用する （項目を立てて書こう　案内文を書く） 表記や語句、叙述に着目して、推敲する（書エ） （知・技）語感を磨き、語彙を豊かにする （例示）弱みの立場に立つ） 根拠を明確にして書く（書ウ・オ） （知・技）引用のしかたを理解し、活用する （根拠を明確にして書こう　資料を引用して報告する） 表現を工夫して文章を書き換える（書ウ） （知・技）語句の意味に注目する （今に生きる言葉　故事成語を使って体験文を書こう） 構成を工夫して書く（書イ・ウ） （知・技）情報や行動、心情を表す語句を選ぶ （構成や描写を工夫して書こう　体験を基に随筆を書く） 伝えることを明確にする（書ア） （知・技）情報や理由を明確にする （例示）1年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する）	表現を工夫して創作する（書ウ・オ） （知・技）表現技法を使う （詩の創作教室） 表現を工夫して書く（書ウ・オ） （知・技）語句の意味に注目する （少年の日の思い出　別の人物の視点から文章を書き換えよう） 構成を工夫して書く（書イ・ウ） （知・技）情報や行動、心情を表す語句を選ぶ （構成や描写を工夫して書こう　体験を基に随筆を書く） ［「論理の展開の型」］ ［文章の展開の例］	説明 情報収集 情報整理 取捨選択 比較・分類 詩 表現技法 表現の工夫 案内 情報整理 構成の工夫 比較・分類 推薦 表現・語句 レポート 根拠を明確に 統計資料 引用・出典 随筆 構成の工夫 描写の工夫 説明 題材決定 比較・分類
中2	多様な方法で集めた情報を整理する（書ア） （知・技）情報整理の知識や方法を活用する （情報を整理して伝えよう　職業ガイドを作る） 表現を工夫して思いを伝える（書ウ） （情報を工夫して書こう　手紙や電子メールを書く） 適切な根拠を選び、構成を工夫する（書イ・ウ） （知・技）適切な根拠の選び方を知る （適切な根拠を選んで書こう　意見文を書く） 構成を工夫して、自分の考えをまとめる（書イ） （知・技）古典に表れたものの見方を知る （仁徳寺にある法師　人物の特徴を捉えて読もう） 観点を決め、自分の考えをまとめる（書ウ） （知・技）語句の意味や語感を確かめる （走れメロス　作品の魅力をまとめ、語り合おう） 友達からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだす（書オ） （知・技）共通点を見つけ、抽象化する （国語の学びを振り返ろう 「話題を学ぶ意義」を考え、コピーを作る）	題材を決め、表現を工夫して書く（書ア・ウ） （知・技）古典に表れたものの見方を知る （枕草子　自分は「枕草子」を書こう） 表現の効果を考えて創作する（書ウ） （知・技）情報や心情を描写する語句に着目する （短歌の創作教室） 表現の効果を考えて、推敲する（書エ） （知・技）言葉の働きを知る／敬語を適切に使う （例示）表現の効果を考える） 表現の効果を考えて描写する（書ウ・オ） （知・技）語感を磨き、語彙を豊かにする （描写を工夫して書こう　心の動きが伝わるように物語を書く）	創作 短歌 表現の工夫 手紙・電子メール 表現の工夫 言葉の働き　敬語 推敲 表現の効果 言葉の働き　敬語 意見 根拠の選び方 構成の工夫 頭括型・尾括型・双括型 意見・根拠 物語 表現の効果 描写の工夫 報告 具体・抽象
中3	論理の展開を考える（書ア・イ） （知・技）意見と根拠の関係について理解を深める （論理の展開を意識して書こう　クラブを通じた論文を書く） 情報を整理し、客観性や信頼性を確かめる（書ア） （知・技）情報の信頼性を確かめる （報告文を比較して読もう） 目的や読み手に合わせて、論理の展開を整える（書エ・オ） （知・技）意見と根拠の関係について理解を深める （例示）論理の展開を整える） 論理の展開や表現を工夫する（書ウ・オ） （知・技）具体と抽象の関係について理解を深める （考えを効果的に伝えよう　多角的に分析して批評文を書く）	小論文 情報整理 論理の展開 グラフ 意見・根拠 報告文 目的や読み手に合わせて、論理の展開を整える（書エ・オ） （知・技）意見と根拠の関係について理解を深める （例示）論理の展開を整える） 文章の種類を選んで書く（書イ） （知・技）古典の一節を引用する （夏草　古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう） 構成を工夫し、内容を効果的に伝える（書イ） （知・技）文章の種類と特徴について理解する （例示）3年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする）	表現のしかたを考えて創作する（書ウ） （知・技）語句の使い分けに着目する （詩句の創作教室） 小論文 情報整理 論理の展開 グラフ 意見・根拠 俳句 表現の工夫 推敲 論理の展開 表現の工夫 具体・抽象 編集 構成の工夫 文章の種類

読むこと

説明的な文章	学習用語	文学的な文章	学習用語
中1	段落ごとの要点を捉える（読ア） （知・技）比較の使われ方を確かめる （ダイコンはえらい？） 文章の構成に着目する（読ア） （知・技）主張と事例の関係を整理する （ちょっと立ち止まって） 文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉える（読ア） （知・技）比較について理解する （比喩で広がる言葉の世界） 読み取った情報を基に、自分の考えをもつ（読オ） （知・技）引用や出典について理解する （情報収集の達人になろう） 構成や展開の効果を考える（読エ） （知・技）意見と根拠の関係を理解する （「言葉」をもつ鳥、ジュウカラ） ［文章の展開の例］ ［「論理の展開」の型］ 目的に応じて要約する（読ウ・オ） （知・技）必要な情報を選び、結び付ける （「不便」の価値を見つめ直す） 読書　本の中の中学生　あと少し、もう少し／西の魔女が死んだ 研究の現場にようこそ　四百年のスローライフ／はやぶさ２最強ミッションの真実	段落の役割 比較・分類 要旨 構成 事例 主張　根拠 詩 表現技法 構成・展開 仮説・検証 意見・根拠 要約 キーワード キーセンテンス 関係づけ	心情の変化を捉える（読イ） （知・技）図を用いて心情を整理する（はじまりの風） ［心情の変化を図で整理］ 場面① 場面② 場面③ 情景を想像し、表現の効果について考える（読エ） （知・技）語感を磨く （空の詩 三編） 描写に着目する（読イ） （知・技）読書により、知識や情報を得る （大人になれなかった弟たちに……） 結び付けて解釈する（読ウ） （知・技）図を用いて場面や描写を整理する （星の花が降るころに） 語り手の視点に着目する（読エ・オ） （知・技）語句の意味に注目する （少年の日の思い出） 表現の効果を考える（読エ） （知・技）心情を表す語句や表現に着目する （二十歳になった日） 作者の思いについて考える（読オ） （知・技）表現技法と、その効果を確かめる （ぼくが　ここに）	場面の展開 登場人物の心情 図での整理 表現の効果 描写 登場人物の心情 意見と根拠 （思考のレッスン1） 解釈 情景描写 図での整理 語り手 表現の効果 随筆 表現の効果 表現技法
中2	文章と図表を結び付けて読む（読ア・ウ） （知・技）情報と情報との関係を図示する （クマゼミ増加の原因を探る） 目的に応じて適切な情報を得る（読イ） （知・技）意見と根拠の関係を捉える （デジタル市民として生きる） 論理の展開を吟味する（読エ・オ） （知・技）適切な根拠の在り方について理解する （モアイは語る――地球の未来） 観点を明確にして文章を比較する（読エ・オ） （知・技）表などを用いて、情報を整理する （君は「最後の晩餐」を知っているか／「最後の晩餐」の新しさ） 表現の効果を考えて描写する（読ウ・オ） （知・技）語感を磨き、語彙を豊かにする （描写を工夫して書こう　心の動きが伝わるように物語を書く） 読書　翻訳作品を読み比べよう　星の王子さま 「自分らしさ」を認め合う社会へ　父とはせば／六千回のトライの先に	全体と部分 図表 情報の表し方 情報整理 意見・根拠 短歌 表現の工夫 論理 論理の展開 意見・根拠 評論　解説 比較 情報の扱い方	登場人物の設定を捉える（読ア） （知・技）図を用いて設定を表す （アイスブラネット） 表現の効果を考える（読エ・オ） （知・技）情景や心情を描写する語句に着目する （短歌に親しむ・短歌を味わう） 知識や経験と結び付けて考えを深める（読オ） （知・技）読書を通して、さまざまな考え方に触れる （言葉の力） 登場人物の言動の意味を考える（読イ） （知・技）文章の構成や場面の展開について理解を深める （ヒューマノイド） 表現の効果を考える（読エ） （知・技）日常の読書に生かす （学のない思春） 人物像に着目する（読イ・オ） （知・技）語句の意味や語感を確かめる （走れメロス） 自分の経験と結び付け、考えを深める（読オ） （知・技）語感を磨き、語彙を豊かにする	登場人物の設定 人物像 情報の表し方 短歌 表現の効果 言動の意味 伏線 解釈 構成・展開 表現の効果 人物像 根拠の吟味 （思考のレッスン1） 具体と抽象 （思考のレッスン2）
中3	論理の展開を捉える（読ア） （知・技）具体と抽象の関係を捉える （作られた「物語」を超えて） 筆者のものの見方や考え方について考える（読イ） （知・技）感覚や概念を表す語句・表現の幅を広げる （言葉の釣り糸を垂らす） 文章の種類を踏まえて、情報を読み取る（読ア） （知・技）文章の種類と特徴について理解する （実用的な文章を読もう） 文章を批判的に読み比べる（読イ） （知・技）情報の信頼性を確かめる （報道文を比較して読もう） 文章を批判的に読み、評価する（読イ・ウ） （知・技）語感の効用を理解する （複数の意見を読んで、考え上――正解がつ）に決まらない課題と向き合う） 文章を読んで、自分の意見をもつ（読イ・エ） （知・技）具体的な事例を挙げ、抽象的な概念への理解を深める （それでも、言葉を） 文章を読んで考えを深め、自分の意見をもつ（読エ） （知・技）読書の意義を理解する （アラスカとの出会い） 読書　「私の一冊」を探しにいこう　羊と鋼の森 本は世界への扉　天、共に在り／板夜行	論説 論理の展開 具体・抽象 小論文 情報整理 論理の展開 グラフ 意見・根拠 俳句 表現の工夫 推敲 論理の展開 意見・根拠 批評 論理の展開 表現の工夫 具体・抽象	展開のしかたを捉える（読ア・イ） （知・技）抽象的な概念を表す語句を用いる 作者の表現意図を考え、表現のしかたを評価する（読ウ） （知・技）語句の使い分けに着目する （俳句の可能性・俳句を味わう） 表現の効果を評価し、現代社会と重ね合わせながら考えを深める（読ウ・エ） （知・技）語句の文脈上の意味や効果を考える （故郷――原爆の写真によせて） 文学作品を批評する（読イ・エ） （知・技）読書の意義を理解する （故郷） ［文学作品を批評するときの観点の例］ 文章を読んで考えを深め、自分の意見をもつ（読エ） （知・技）読書の意義を理解する （温かいスープ）（律儀な桜） （わたしを束ねないで）（初日）	展開のしかた 回想 人物像 俳句 表現の評価 表現の評価 批判的に読む 批評 具体化・抽象化 （思考のレッスン） 抽象 具体 具体 具体 具体 具体 具体

情報の扱い方

情報と情報との関係
順序を捉える
全体と中心の関係を捉える
考えと例の関係を捉える
原因と結果の関係を捉える
主張と事例の関係を捉える

情報の整理
メモを取る
引用する
要約する
目的に応じて引用する
情報と情報をつなげて伝える

文の組み立て 話し言葉と書き言葉 日本の文字文化 日本語の特質
仲間の言葉 主語と述語 反対意味の言葉・反対の意味の言葉 様子を表す言葉
国語辞典を使う こそあど言葉 修飾語 伝わる言葉で表す
つなぎ言葉 いろいろな意味をもつ言葉 言葉の分類 つながりに気をつける
敬語 方言と共通語 和語・漢語・外来語 慣用句 ことわざ・故事成語
語彙を豊かに 心情を表す言葉
語彙を豊かに 時や世代による言葉の変化
文法を生かす 文法のまとめ

言葉・語彙・文法

【言葉】 音声の仕組みや働き 指示する語句と接続する語句 さまざまな表現技法
【言葉】 音声の仕組みや働き 指示する語句と接続する語句 接続する語句 比喩　直喩　隠喩 擬人法　反復 倒置　体言止め 省略　対句　方言
【文法】 言葉の単位 文の組み立て 単語の分類
【文法】 文章　談話　段落 文　文節　単語 主語　述語 修飾語　接続語 独立語 連文節　文の成分 自立語　付属語 活用　品詞 体言　用言

我が国の言語文化

聴きひたる　大阿蘇 古典の世界 言語を楽しむ　いろは歌 蓬莱の玉の枝 ――「竹取物語」から （冒頭／蓬莱の玉の枝／かぐや姫の昇天／ふじの山）
今に生きる言葉（子狐）
【資料編】 言葉としぐさの伝統芸能 ―― 古典落語 （古典落語：「時そば」「目黒のさんま」）
百人一首を味わう
季節のしおり （詩　：「風景 純銅もざいく」「山頭から」 「素朴な琴」「雪」「冬が来た」 和歌：紀友則、藤原敏行 短歌：石川啄木 俳諧：与謝蕪村、山口素堂 俳句：正岡子規 季節の植物や動物にまつわる言葉）
聴きひたる　月夜の浜辺 枕草子 （冒頭・春はあけぼの／うつくしきもの／月のいと明かきに） 言語を楽しむ　平家物語（冒頭） 「平家物語」の世界 「平家物語」の主な登場人物たち 扇の的 ――「平家物語」から （扇の的／弓流し） 仁和寺にある法師 ――「徒然草」から （冒頭／仁和寺にある法師） 漢詩の風景 （春暁／絶句／黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る／春望）
【資料編】 古典芸能の世界 ―― 歌舞伎・狂言 （能　：「屋島（八島）」 狂言：「末広がり」）
敬語の最期 ――「平家物語」から
季節のしおり （短歌：与謝野晶子、石川啄木、寺山修司、 俳句：松尾芭蕉、与謝蕪村 俳諧：松尾芭蕉、三浦梅園 俳句：高浜虚子、水原秋櫻子、山口誓子、 久保田万太郎 名文の一節：「雪国」　気象にまつわる言葉）

学習用語

題名
メモ
段落 引用 出典 索引
要点 箇条書き 対比
構成 事例 主張 根拠
推敲

読むこと

説明的な文章	学習用語	文学的な文章	学習用語
中1	段落ごとの要点を捉える（読ア） （知・技）比較の使われ方を確かめる （ダイコンはえらい？） 文章の構成に着目する（読ア） （知・技）主張と事例の関係を整理する （ちょっと立ち止まって） 文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉える（読ア） （知・技）比較について理解する （比喩で広がる言葉の世界） 読み取った情報を基に、自分の考えをもつ（読オ） （知・技）引用や出典について理解する （情報収集の達人になろう） 構成や展開の効果を考える（読エ） （知・技）意見と根拠の関係を理解する （「言葉」をもつ鳥、ジュウカラ） ［文章の展開の例］ ［「論理の展開」の型］ 目的に応じて要約する（読ウ・オ） （知・技）必要な情報を選び、結び付ける （「不便」の価値を見つめ直す） 読書　本の中の中学生　あと少し、もう少し／西の魔女が死んだ 研究の現場にようこそ　四百年のスローライフ／はやぶさ２最強ミッションの真実	段落の役割 比較・分類 要旨 構成 事例 主張　根拠 詩 表現技法 構成・展開 仮説・検証 意見・根拠 要約 キーワード キーセンテンス 関係づけ	心情の変化を捉える（読イ） （知・技）図を用いて心情を整理する（はじまりの風） ［心情の変化を図で整理］ 場面① 場面② 場面③ 情景を想像し、表現の効果について考える（読エ） （知・技）語感を磨く （空の詩 三編） 描写に着目する（読イ） （知・技）読書により、知識や情報を得る （大人になれなかった弟たちに……） 結び付けて解釈する（読ウ） （知・技）図を用いて場面や描写を整理する （星の花が降るころに） 語り手の視点に着目する（読エ・オ） （知・技）語句の意味に注目する （少年の日の思い出） 表現の効果を考える（読エ） （知・技）心情を表す語句や表現に着目する （二十歳になった日） 作者の思いについて考える（読オ） （知・技）表現技法と、その効果を確かめる （ぼくが　ここに）	場面の展開 登場人物の心情 図での整理 表現の効果 描写 登場人物の心情 意見と根拠 （思考のレッスン1） 解釈 情景描写 図での整理 語り手 表現の効果 随筆 表現の効果 表現技法
中2	文章と図表を結び付けて読む（読ア・ウ） （知・技）情報と情報との関係を図示する （クマゼミ増加の原因を探る） 目的に応じて適切な情報を得る（読イ） （知・技）意見と根拠の関係を捉える （デジタル市民として生きる） 論理の展開を吟味する（読エ・オ） （知・技）適切な根拠の在り方について理解する （モアイは語る――地球の未来） 観点を明確にして文章を比較する（読エ・オ） （知・技）表などを用いて、情報を整理する （君は「最後の晩餐」を知っているか／「最後の晩餐」の新しさ） 表現の効果を考えて描写する（読ウ・オ） （知・技）語感を磨き、語彙を豊かにする （描写を工夫して書こう　心の動きが伝わるように物語を書く） 読書　翻訳作品を読み比べよう　星の王子さま 「自分らしさ」を認め合う社会へ　父とはせば／六千回のトライの先に	全体と部分 図表 情報の表し方 情報整理 意見・根拠 短歌 表現の工夫 論理 論理の展開 意見・根拠 評論　解説 比較 情報の扱い方	登場人物の設定を捉える（読ア） （知・技）図を用いて設定を表す （アイスブラネット） 表現の効果を考える（読エ・オ） （知・技）情景や心情を描写する語句に着目する （短歌に親しむ・短歌を味わう） 知識や経験と結び付けて考えを深める（読オ） （知・技）読書を通して、さまざまな考え方に触れる （言葉の力） 登場人物の言動の意味を考える（読イ） （知・技）文章の構成や場面の展開について理解を深める （ヒューマノイド） 表現の効果を考える（読エ） （知・技）日常の読書に生かす （学のない思春） 人物像に着目する（読イ・オ） （知・技）語句の意味や語感を確かめる （走れメロス） 自分の経験と結び付け、考えを深める（読オ） （知・技）語感を磨き、語彙を豊かにする	登場人物の設定 人物像 情報の表し方 短歌 表現の効果 言動の意味 伏線 解釈 構成・展開 表現の効果 人物像 根拠の吟味 （思考のレッスン1） 具体と抽象 （思考のレッスン2）
中3	論理の展開を捉える（読